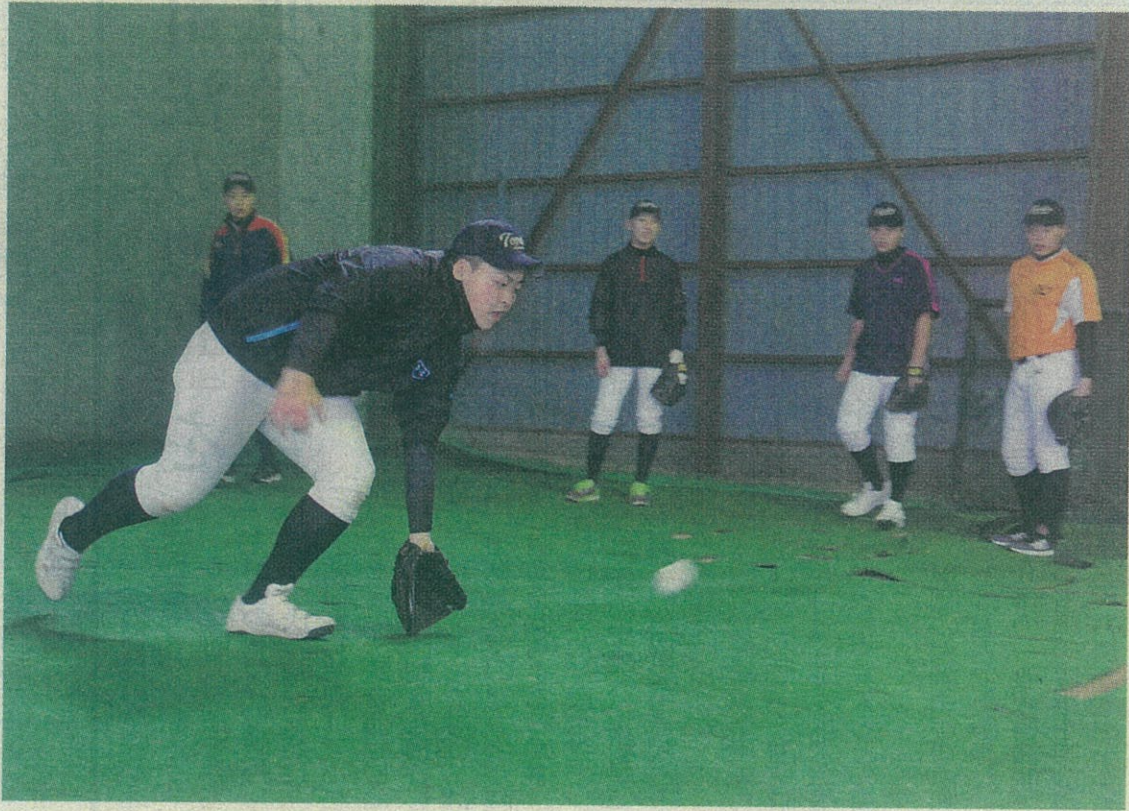


目標は全国 冬も熱く

中学生硬式 洞爺湖リトルシニア



室内練習場でノックを受ける洞爺湖の選手

球春見据え室内練習

洞爺湖

胆振西部唯一の中学生の硬式野球チーム・洞爺湖リトルシニア球団（若松敦治監督）が、冬場の練習に熱を入れている。洞爺湖町洞爺湖温泉にある室内練習場は、「全国大会出場」を目標に掲げたナインらの熱気と気合がみなぎる声が響いている。

（奥村憲史）

現在のメンバーは胆振、後志などの小学6年～中学3年生計25人が所属。中学3年生8人のうち、3人が埼玉県の花咲徳栄高、1人が駒大苫小牧高に進学が決まっている。ほかの部員も道内の強豪校へ進学予定という。新人は既に7人の加入が決まっている。

年明けの1月7日から全体練習がスタート。専用の室内練習場でキャッチボールやノック、打撃練習などボールを使ったメニューに取り組む。屋外ではランニング、坂道ダッシュで足腰を鍛え補強トレーニングもこなす。土、日曜日の練習では食事の提供もあり、体づくりもチーム全体で進めている。

指導陣はバッテリーの強化と守備のレベルアップをこの冬のテーマに挙げてい

若松監督は「冬の練習は特に反復が多い。いろいろなメニューを取り入れ楽しくできるような心掛けていく。（洞爺湖リトルシニア）で練習し野球をもっと好きになってくれれば、と思う」と指導している。

練習は土、日曜日を含め週4日。常時見学、体験練習参加者を募っている。詳しくは神取仁ヘッドコーチ、携帯電話090・2871・6516へ。